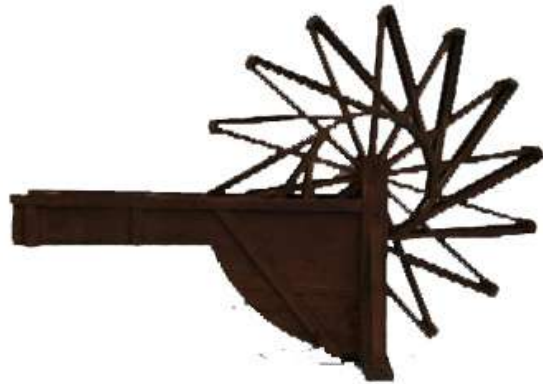


にいがたのむかしにタイムスリップ！

～ 米作り ～

江戸時代、新潟の人々は水のたまる低い土地（低湿地）で、米作りを始めました。

この道具は何だろう？



道具の名前

水車(みずぐるま)

昔の人はこの道具を何のために使ったのでしょうか？

- ① 田んぼの水をきれいにするため
- ② 低い所の水を高い所に組み上げるため

2

収穫を増やすため、土地を良くしようと行われたのが、三湊にたまった水を日本海に流す、新川掘割工事でした。

1) 新川掘割工事が完成するまでに、のべ何人ぐらいの人がこの仕事をしたのでしょうか？

- ① 1万人
- ② 10万人
- ③ 200万人

3

2) これは金蔵坂（今の内野小学校のあたり）の工事の様子です。



さて、人々の手で掘り進められた金蔵坂はどれぐらいの高さがあったところでしょうか？

19

m

新川底樋埋設工事の模型をみましょう

船がうかんで、流れがコの字になっているのが、西川(もともとあった川)、底樋(木で作ったトンネルのようなもの)が作られているのが、これから新川の流れになるところです。底樋が完成したら、このあと、工事はどのように進むと思いますか？

その頃の新潟の田んぼは、水がこしの高さまであるような田んぼでした。

これは、昔の農作業に使われていました。道具の名前とその使い道を展示室の中から探してみましょう。



道具の名前

ヒルタビ

ほかにもいろいろな道具があるよ。よくみてみよう。

何のために使ったの？

深田の農作業の時、チスイビルをさけるためにはいた

展示「収穫の秋」をよく見てみよう。



これは、昔の亀田郷でのイネかりの様子です。

①

②

③

④

今の田んぼやいねかりの様子と何がちがっているだろう？

- ・稲刈りの時期なのに田んぼに水がある
- ・手で稲を刈っている
- ・舟で稲を運んでいる
- ・稲をハサ木に干してかわかしている

など

①～④の人は何をしているのでしょうか？

①	稲を刈っている
②	刈った稲を束ねている
③	稲を舟で運んでいる
④	稲をハサ木にかけている